

授業科目	*保健福祉学入門				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	NT10401J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	伊藤 直子、財津 倫子、通山 久仁子、大嶋 満須美、梶原 浩介、永原 真奈見、花田 浩和							
授業概要	<p>保健福祉学は人々の健康と福祉(幸福)に貢献することを探求する研究の営みであり、基礎から実践まで幅広い課題に取り組んでいる。この営みは看護、福祉、栄養などさまざまな専門家が協力し合うことで発展してきた。保健福祉学部所属する学生がめざす看護、福祉、栄養の専門職も、現場においてはお互いに協力し合うこと、多職種協働が求められている。これを実践するには、自らの専門性を高めるだけでなく、協働する他職種への理解と協力し合う力が求められる。</p> <p>本科目は看護学科、福祉学科及び栄養学科における学びをスタートするにあたり、保健・医療・福祉の専門性を理解するために本学教員の学問領域にふれ、多職種連携の意義を理解し、社会の期待に応えるための課題への認識を深めていくものである。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健福祉学分野における社会のニーズを捉えることができる。(DP1-1)</li> <li>2. 看護、福祉、栄養の各々の専門領域について理解できる。(DP3-1)</li> <li>3. 多職種協働の必要性を説明できる。(DP3-1)</li> <li>4. 保健福祉学入門の学修を踏まえ、自らの学ぶべき課題を整理して説明できる。(DP4-1)</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	100	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			50				50	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			40				40	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			10				10	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルに加え、保健福祉学分野における社会的ニーズを多角的に捉え、専門領域を超え、学ぶことの意義を説明することができる。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健福祉学分野で学ぶことの意義を説明できる。</li> <li>・保健福祉学分野における社会的ニーズを説明できる。</li> <li>・自らの学科で学ぶ専門性と、他学科との関連性を説明できる。</li> <li>・多職種協働で取り組む意義が説明できる。</li> </ul>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	保健福祉学分野で学ぶ意義と課題(担当:伊藤)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30分
2	看護の専門領域における多職種協働(担当:大嶋)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30分
3	看護の専門領域を探究するとは(担当:財津)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30分
4	福祉の専門領域における多職種協働(担当:梶原)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30分
5	福祉の専門領域を探究するとは(担当:通山)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30分
6	栄養の専門領域における多職種協働(担当:花田)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30分
7	栄養の専門領域を探究するとは(担当:永原)	講義	復習:当該部分の復習	復習 30分
8	1回から7回の講義を通し、専門家として社会に果たすべき役割について解説する。(担当:伊藤)	講義 演習	復習:当該部分の復習	復習 30分
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	静かに傾聴する力。 話を要約する力。			
テキスト	指定なし。 講義によってプリント等の配付があります。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中に講師の先生から紹介があります。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健福祉学部合同の授業です。学科の枠を越えて学びます。</li> <li>・講師の先生方の都合で、講義日が前後する可能性もありますので、掲示などにご注意下さい。</li> <li>・講義で聞いた内容について、図書館の書籍やネットで検索し、理解を深めて下さい。</li> <li>・講師の先生に感想や質問を直接に訴えることも有意義と思います。</li> <li>・毎回、小レポートの提出をもって出席とします。</li> <li>・積極的に取り組まれることを期待します。</li> </ul>			
達成度評価に関するコメント	<p>毎回提出する単元レポート及び最終的に提出するレポートで評価します。 行動目標の点数配分比率はつぎの通りとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健福祉学分野における社会のニーズを捉えることができる。 50%</li> <li>2. 看護、福祉、栄養の各々の専門領域について理解できる。 20%</li> <li>3. 多職種協働の必要性を説明できる。 20%</li> <li>4. 保健福祉学入門の学修を踏まえ、自らの学ぶべき課題を整理して説明できる。 10%</li> </ol>			

